

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷惠策 SJ

43

第十二幕 第四場 その2

ヴェネチア・トレビサーノ家の食堂にて

1523年6月中旬

登場人物：	イニゴ・デ・ロヨラ	巡礼者
	マルコ・アントニオ・トレビサーノ	父
	トレビサーノ夫人	母
	ドロテア	長女
	マリア	次女
	ホアニ	長男

【語り】 イニゴは親切なスペイン人マルコ・アントニオ・トレビサーノ一家から歓待され、食後には問われるままに神様についていろいろ話をしながら

ら過ごしました。イニゴはマンレサにいるときから、神が自分に与えられた霊的な体験がほかの人々にも役に立つことを知り、機会あるごとに霊的会話を通して 神について、神に近づく方法について話すのでした。

ホアニの質問に答えた後、今度は姉のマリアがイニゴに尋ねました。

マリア: 有難う、ホアニ。イニゴ様、私の父はお金持ちです。「金持ちが天の国に入るのはラクダが針の穴を通るよりも難しい」とイエス様がおっしゃいましたが、私たちが天国に入るのはそんなに難しいのですか？

イニゴ: 確かにイエス様は、富について注意するように教えておられますね。『あなた方は、神と富とに仕えることはできない。』とおっしゃいました。神様を主人にし、同時に富も主人にすることはできないんですよ。お金そのものが悪いわけではなく、そのお金の奴隷になってしまうと、神様が主ではなくなってしまう、そこを気を付けないといけないんです。神様のみを主とし、お金を僕（道具）として賢く使うなら、神様のためにも人々のためにもたくさん良いことをすることもできるでしょう？ 現にマリアのお父様は、貧しい私をお家に泊めてくださり、もう一か月以上も食事をさせてくださっているでしょう？

マリア: 確かにお父様にお金の余裕があるからイニゴさまに泊まっていただけなのですね？

イニゴ: その通りです。お父様は神様だけを主として仕えておられるから、人々に親切に分けることもでき、人助けをする道具としてお金もよいものになるのです。

マリア: それではなぜイエス様は、金持ちが天の国に入るのは難しいといわれるのでしょうか？

イニゴ: それはね、用心しないといつの間にかお金が人間の心を捕らえ、縛ってしまい、奴隷にしてしまうからです。神様の敵である悪霊は、私たち

人間を神様から引き離そうとして、お金を使って人々を罠にかけようとするのです。

母： まあ恐ろしいこと。どんな風にしますの？

イニゴ： 悪霊の頭ルチフェルは手下の悪霊たちに作戦を授けます。人々の心に
先ず金持ちになりたいという思いを起こさせます。それに乗ってしまう
と 今度はそのお金を使って地位や名誉を得ようとさせます。

ドロテア： そういえば去年、お金をばらまいて票を集め議員になろうとして捕
まった人がいましたね？

イニゴ： ヴェネチアでもありましたか？残念ながら世界中どこでもそういう誘
惑に負けてしまう人がいるのです。そして高い地位について権力や名誉
を持つと傲慢になり、自分自身が中心になり、神様への信仰や忠実さが
薄くなり、人々や自分の救いのことを考えなくなる危険が増していきま
す。

マリア： そのような恐ろしい結果を招くきっかけに富がなるという訳ですね？
そうなんですか？

父（トレヴィサーノ氏）： 確かに豊かになり人の上に立つようになると、いつ
の間にか自分がさも偉い者になった様な気分になり、傲慢心が頭をもた
げそうになりますなあ。

ドロテア： ルチフェルの誘惑に陥らないためにはどうすればいいのでしょうか？

イニゴ： 主キリストの旗の下で戦うことによって打ち克つことが出来ます。
キリストは、ルチフェルの誘いとは正反対の作戦を私たちにお授けになり
ます。富への誘惑に対しては清貧への招きを、この世の名誉への誘惑に対
しては、辱められたキリストと同じように恥を忍ぶことを、そして傲慢に
対しては、へりくだった心を持つよう招かれます。本物の謙遜に達する
とき、心が柔和、謙遜でいらしたキリストに似たものとなり、主とともに人々
の救いのために全力を尽くすようになるのです。

父（トレヴィサーノ氏）： うわべは謙遜な物腰をすることはできても、心底謙遜
になることは容易ではありませんね。つい自分の考えを押し通し、傲慢

に振舞いたくなります。

イニゴ：人にはいつもその弱みがあり、悪魔はそこを突いてきます。でも、この一か月ご家族と一緒に暮らせていただくうちに、何度もあなたも奥様もお子さんたちも困っている人たちに惜しみなく施していらっしゃるのを見ました。イエス様のみ教え＜マタイ 6 章＞に従い、神様を唯一の主とあがめ、富を僕とみなしている限り 神様は天の国の門をご一家のために開いてくださるに違いありません。

父： あなたがそう言ってくださると、心が安らぎます。
ところで先日お話ししていたヴェネチアの Doge（総督）との面会が出来るようになりました。

母： まあ、よかったこと！

ドロテア、マリア： 本当に？よかったあ！！

ホアニ： バンザーイ！